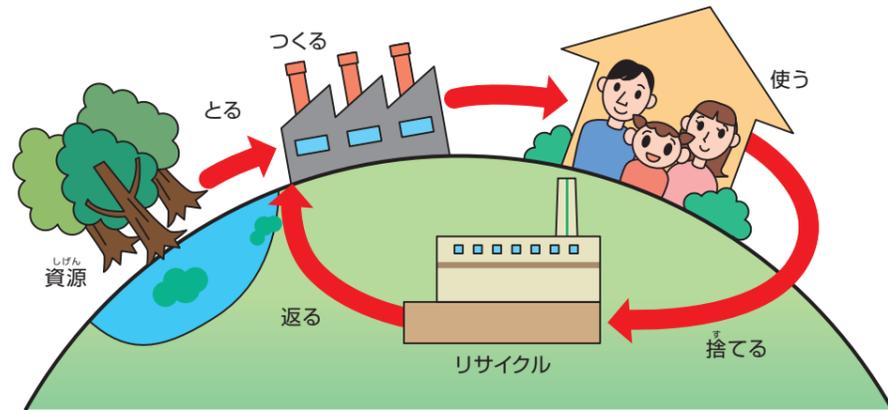




2 循環型社会

循環型社会のしくみ

～循環の輪の中には、どんな物が当てはまるかな？～



「循環」ってのは、
ひと回りしてもとに戻ることを
くり返すという意味です。
一度使った物をそのまま
捨ててしまうのではなく、
もう一度新しい物をつくるための
材料やエネルギーとして利用します。

材料やエネルギーを
大切にくり返し使う社会を
循環型社会といいます。
つまり、限りある地球の資源を
大切に使う、地球と
なかよくしていく
社会ということです。

ごみを減らす (Reduce)
くり返し使う (Reuse)
再生利用する (Recycle) の
「3R」活動は下の
「3Rの3つの行動」を見てね。



3Rの3つの行動

1 ごみを減らす

- ・ごみになるものを買わない、もらわない。
- ・こわれにくく、長く使える製品を買う。



2 くり返し使う

- ・リターナブル容器 (牛乳びんのように
お店で回収し、洗って再び使えるように
する容器) の製品を買う。
- ・いらなくなったものはほしい人にゆずったり、
リサイクルショップを活用したりする。



不用品の適切な処分

- ・どうしても使えないものは、燃やして、
熱を使用する。
- ・最後に残ったものをきちんと処分する。

3 再生利用する

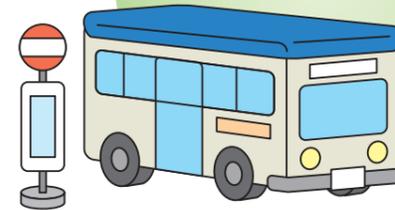
- ・ごみは分別する。
- ・リサイクルされた製品を買う。



資源を大事に使うためにはどんなことができるかな？

物をなるべく持たない

- 車の代わりにバスや
鉄道を使う
- 物を持たずに
レンタルなどを利用する



物を無駄に買わない、使わない

- 買い物をする前に必要か
どうか考えてから買う
- コピーするときには両面にする
- プリンターからの紙の
打ち出しはできるだけしない
- 量り売りなど
必要な分だけ買う



買った物は長くくり返し使う

- 長く使える物や修理して
使える物を選ぶ
- 物を修理しながら長く使う
- 使い捨てのものを使わない
- 家や家具などの
リフォームをする
- マイバッグを使う



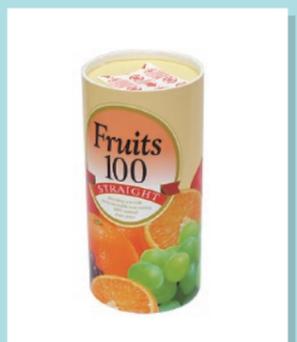
資源を節約して作られた物を買う

- 簡単な包装の物を買う
- つめかえできる
容器を使う
- 環境にやさしい
製品を買う



なるほど Topics カートカンを使った森のリサイクル

カートカンは、間伐材などを原料とした紙からできています。森林は人間が定期的に整備をしないと、荒れてしまいますが、間伐材をカートカンの原料とすることで、森林整備に必要な費用の一部がそこから得られるようになりました。飲み終わったあとのカートカンは、トイレトペーパーなどにリサイクルされます。
注：森林の手入れのために伐採した木材。



紙からできているカートカン
(写真提供：もりかみ協議会)